

学習内容報告書 フォーマット

学校名	三重県鳥羽市立答志小学校
授業者	鹿海 啓太

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

しらすが私たちのもとに届くまで

1-2. 学年

5年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

社会科 総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

社会科で日本の水産業について学習し、水産物の魅力を高めることや環境を保全することを学習してきた。子どもたちの地元、答志島も漁業の盛んな地域である。そこで、地元でも盛んに行われているしらす漁について調べた。しらすが獲れてからどのような過程を経て自分たちの食卓に並ぶのか、流通についても調べ、食についての関心や愛着を高める。またその学習の過程でしらすの加工品の流通についても関心を持てるように学習を展開する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

答志島では季節に合わせて様々な海産物が獲れる。児童にとっても日頃から家庭の食卓に並ぶしらすについて、改めて考えさせる機会にした。当たり前のように食べている食材がどのようにして取られ、どのような過程を経て、私たちの元に届くのか地域の方へのインタビューで調べることにした。流通の過程を調べる学習を通して、地域の水産業に興味をもち、発信できるようにする。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・水産業や食品の流通に関わる方々の工夫や努力を知り、自分の生活に生かす能力を身につける。
- ・水産業や食品の流通について学んだことを発信しようとする態度を育てる。

1-7. 単元の展開（全10時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	社会科で日本の水産業について学習し、地元で行っている漁について調べる。	○教師の指導：地元の水産業を取り上げ、地元で行っている様々な漁を取り上げる。 ○主な評価：課題設定 ○使用教材等：児童用タブレット
2 3	しらす漁とその流通について調べ、新たな疑問を持ち、地域の方へのインタビューを計画する。	○教師の指導：質問作成の補助。 ○主な評価：課題設定 ○使用教材等：ワークシート、児童用タブレット
4	しらす漁についてのインタビューをし、漁をする際の工夫や努力を知る。	○教師の指導：発表の補助（音声、準備物） ○主な評価：課題解決、発信力 ○外部連携：保護者（しらす漁関係者） ○使用教材等：ワークシート
5	インタビューで知ったことをまとめる。	○教師の指導：インタビュー交流の支援 ○主な評価：情報整理分析、発信力 ○使用教材等：ワークシート、児童用タブレット
6 7	しらすの流通についてのインタビューをし、流通に関係する人たちの工夫や努力を知る。	○教師の指導：児童の引率 ○主な評価：課題解決、発信力 ○外部連携：鳥羽磯部漁協答志支所 ○使用教材等：ワークシート、児童用タブレット
8 9	海の子フェスタに向けて発表したいことを話し合い、準備をする。	○教師の指導：児童交流の支援、板書 ○主な評価：情報整理分析、発信力 ○使用教材等：ワークシート、児童用タブレット
10	海の子フェスタで、他学年の児童、保護者に向けて発表する	○教師の指導：発表の補助（音声、準備物） ○主な評価：発信力 ○外部連携：保護者 ○使用教材等：再現する衣装や小道具（画用紙、段ボール）

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

2-2. 本時の目標

しらす漁についてインタビューしたことをクラスで交流しよう。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1 しらす漁について聞き取りをしたことを交流する。	・しらす漁をする漁師さんの工夫や努力を整理し、板書する。 (評価の観点：発信力・ワークシートの記述)
2 聞き取った内容から海の子フェスタでみんなに伝えたいことを整理する。	
3 しらすの流通について聞き取りをしたことを交流する。	・しらすの流通について鳥羽磯部漁協答志支所の方の工夫や努力を整理し、板書する。 (評価の観点：発信力・ワークシートの記述)
4 聞き取った内容から海の子フェスタでみんなに伝えたいことを整理する。	
5 聞き取りから、しらす漁、しらすの流通について新たに分かったことを発表する。	・しらす漁で獲れたしらすがどのようにして私たちのもとに届くのか分かったことを発表させる。(評価の視点：発表)

3. 今回の活動の自己評価

- ・しらす漁やしらすの流通に関わる人たちの工夫や努力を知り、地域の食材について関心を持つことができる。
- ・インタビューや調べた情報の中から、伝えたい情報を整理し、発信することができる。

4. 今後の課題

・しらす漁・漁協でのインタビュー調査では、知りたい疑問が多岐にわたってしまっており、伝えたい内容を整理することが困難だった。質問の厳選が必要だと感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。